

豊中市ひとり親家庭等日常生活支援事業実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、豊中市内に居住する母子家庭、父子家庭及び寡婦（以下「ひとり親家庭等」という。）が修学等の自立を促進するために必要な事由や疾病などの事由により、一時的に生活援助、保育サービスが必要な場合又は生活環境等の激変により、日常生活を営むのに支障が生じている場合に、その生活を支援する者（以下「家庭生活支援員」という。）を派遣し、必要な支援を行う、又は、子育て支援を受けた者に対してその費用の補助を行う豊中市ひとり親家庭等日常生活支援事業（以下「事業」という。）の実施について、法令に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(実施主体)

第2条 実施主体は、豊中市とし、この事業の一部を地域の母子父子福祉団体、NPO及び介護事業者等（以下「受託者」という。）に委託することができる。

(定義)

第3条 この要綱において「母子家庭」及び「父子家庭」並びに「寡婦」とは、母子及び父子並びに寡婦福祉法（昭和39年法律第129号）の規定によるものとする。

(対象世帯)

第4条 この事業の対象となるひとり親家庭等は、次に掲げる事由により一時的に生活援助、保育サービスが必要な場合又は生活環境等の激変により、日常生活を営むのに支障があり、かつ、日常生活の支援を受けることが困難であると認められるひとり親家庭等で、市内に住所を有する者とする。また、離婚調停中など、離婚前の困難を抱える母又は父と子の世帯についても対象とする。

- (1) 技能習得のための通学、就職活動等自立促進を図る必要があること
- (2) 疾病、出産、看護、事故、災害、冠婚葬祭、残業、転勤、出張、学校等の公的行事の参加等社会通念上必要と認められる事由
- (3) 乳幼児又は小学校に就学する児童を養育しているひとり親家庭であって、就業上の理由により、帰宅時間が遅くなる等の場合（所定内労働時間の就業を除く。）に定期的に、生活援助、保育サービスが必要な家庭
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が適当と認める事由

(支援の種類及び内容)

第5条 支援の種類は、生活援助と子育て支援とし、次の援助又は支援を行うものとする。

- (1) 生活援助 家事、介護その他の日常生活の便宜
- ア 食事の世話
 - イ 住居の掃除
 - ウ 身の回りの世話
 - エ 生活必需品の買い物
 - オ 医療機関等との連絡
 - カ アからオに掲げるもののほか、市長が必要と認めるもの

(2) 子育て支援

「豊中市ファミリー・サポート・センター事業」（以下「ファミサポ」という。）を利用した際の謝礼金に対する補助

2 前項の規定にかかわらず、次の支援は行わない。

- (1) 病児・病後児の保育
- (2) インフルエンザや結核等、感染症の患者のいる居宅における支援

(事業の実施場所)

第6条 事業の実施場所は、次のとおりとする。

- (1) 生活援助
当該世帯の居宅
- (2) 子育て支援
ファミサポの会則に準ずる

(利用者の登録申込等)

第7条 この事業を利用しようとする者は、あらかじめひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録申込書（様式第1号）（以下「登録申込書」という。），世帯状況調書（様式第2号）に必要な書類を添え、市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定により提出された登録申込書の内容を審査し、適當と認めたときは、ひとり親家庭等日常生活支援事業利用者登録簿（以下「登録簿」という。）にこれを登録し、ひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録兼負担額決定（変更）通知書（様式第3号）（以下「決定（変更）通知書」という。）により申込者へ通知するものとする。

3 市長は、前項の通知を行った場合にあっては、速やかに第2条の規定による委託を受けた受託者に、登録申込書の写し及び決定（変更）通知書の写しを送付するものとする。

4 第2項の規定により通知を受けた者は、登録簿に登録されている事項に変更が生じた場合は、必要書類を添えて速やかに市長にその旨を届け出なければならない。

- 5 市長は、前項の規定による届出があったときは、登録簿の内容を修正するものとする。
- 6 第2項及び第3項の規定は、前項の届出があった場合に準用する。
- 7 市長は、利用者が第4条に定める事由がないにも関わらず利用を行った場合、第5条に定める支援の種類以外の支援を受けようとした場合、及びこれに類する対象とならない利用があった場合は、利用者の登録を取り消しすることができる。
- 8 市長は、前項の規定による取り消しを行った場合は、申込者に通知するものとする。

(家庭生活支援員の選定及び登録)

第8条 受託者は、心身ともに健内で、ひとり親家庭等の福祉の向上に理解と熱意を有する者のうち、次の要件を備えている者から家庭生活支援員を選定し、登録しておくものとする。ただし、「豊中市ひとり親家庭等日常生活支援事業補助要綱」で定める補助対象事業については、当該事業の実施主体において登録しておくものとする。

(1) 生活援助

- ア 旧訪問介護員（ホームヘルパー）3級以上の資格を有する者
- イ 介護福祉士の資格を有する者
- ウ 保育士の資格を有する者
- エ 看護師の資格を有する者
- オ 生活援助の実施に必要な研修として市が認めた研修を修了した者

(2) 子育て支援

ファミサポに入会している援助会員

(家庭生活支援員の派遣)

第9条 豊中市は、家庭生活支援員の派遣を必要とするひとり親家庭等又は当該世帯の近隣に在住する者等の要請に基づき、予算の範囲内で当該世帯に家庭生活支援員を派遣するものとする。

(支援の日数等)

第10条 支援の日数は生活援助、子育て支援を合わせて年間80時間を限度とする。
2 支援時間の単位は、生活援助、子育て支援とも1時間とする。

(報告)

第11条 受託者は、派遣状況報告書（様式第4号）により、家庭生活支援員の派遣状況を豊中市長に報告するものとする。

(費用の負担)

第12条 豊中市は、本事業の実施に必要な経費の一部を、家庭生活支援員の派遣等を受

けた世帯の負担とすることができます。

(家庭生活支援員の責務)

第13条 家庭生活支援員は、その業務を行うに当たり、ひとり親家庭等の人格を尊重し、当該世帯に関して職務上知り得た秘密を守らなければならないものとする。

(関係機関等との協力)

第14条 豊中市及び受託者は、この事業の実施に当たっては、母子父子自立支援員、民生委員・児童委員その他関係機関等と連絡を密にして行うものとする。

(その他)

第15条 この要綱に定めるもののほか、この事業に関し必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

この要綱は、平成25年8月30日から施行する。

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行し、平成29年8月1日から適用する。

この要綱は、令和2年8月1日から施行する。

この要綱は、令和3年1月1日から施行する。

この要綱は、令和3年7月1日から施行する。

この要綱は、令和4年6月1日から施行する。

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

この要綱は、令和8年1月20日から施行し、令和7年4月1日から適用する。